

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

春季近畿地区高校野球大会の県予選が11日から始まる。

近畿地区高校野球県予選 11日に39校で開幕 タイブレーク制を導入

39校が参加し、トーナメントで優勝を争う。優勝校は5月に滋賀県で開かれる近畿大会に県代表として出場する。今大会から、延長12回を終えて同点の場合、タイブレーク制を導入する。

会場は上富田スポーツセンター(上富田町)▽千里ヶ丘球場(みなべ町)▽紀三井寺球場(和歌山市)の3カ所。準々決勝は29日。準決勝は5月9日で、決勝は10日。会場は紀三井寺球場。4強入り参加する。

した学校は、夏の全国高校野球選手権和歌山大会のシード権を得る。近畿大会は5月23日から、滋賀県彦根市の彦根球場である。近畿2府4県から8校が参加する。

県高野連によると、タイブレーク制を導入するのは、和歌山県の公式戦では初めて。13回は選択打順で無死一、二塁から始める。14回以降は、打順は継続の上で無死一、二塁で始まる。

